

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公開番号】特開2012-115508(P2012-115508A)

【公開日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2012-024

【出願番号】特願2010-268316(P2010-268316)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 3 B

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月9日(2014.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周囲に複数の図柄が付された回転リールと、
 回転リールの図柄を視認可能な図柄表示窓とを備え、
 遊技に用いるスイッチとして少なくとも、
 回転リールの回転を開始させるためのスタートスイッチと、
 回転リールの回転を停止させるためのストップスイッチと、
 予め貯留した遊技媒体を内部投入するためのベットスイッチとを備え、

遊技媒体の直接投入又は内部投入により遊技の開始を可能とし、スタートスイッチの操作により回転リールの回転を開始させるとともに、複数の役のいずれかに当選か又はハズレかの抽選を行い、該抽選の結果及びストップスイッチの操作に基づいて回転リールの回転を停止させ、当選した役を構成する図柄の組み合わせが図柄表示窓内の所定の位置に揃ったか否かの判定を行い、該判定の結果に応じて所定の利益を遊技者に付与する又は付与しないことで 1 回の遊技が終了する遊技機であって、

遊技機は、

遊技の進行を遅延させるフリーズ状態を実行するフリーズ制御手段と、

フリーズ状態において、遊技機に設けられたスイッチのうち所定のスイッチの操作に応じて、回転リールが作動するようにしたリール動作制御手段と、

リール動作制御手段により、回転リールが作動した結果、図柄表示窓内の図柄の停止表示が所定の表示態様となった場合に、遊技者に所定の利益を付与する利益付与手段とを備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

フリーズ状態において、ストップスイッチと他の特定のスイッチとの同時操作が検知可能に形成され、

リール動作制御手段は、

__ストップスイッチの操作のみが検知された場合には、所定の回転方向に回転リールが作動し、

__ストップスイッチと他の特定のスイッチとの同時操作が検知された場合には、所定の回転方向とは反対の方向に回転リールが作動するように形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

__所定のスイッチの操作に基づいて、回転リールに特定の回転量の作動を行わせるか否かを決定するリール動作実行決定手段を備え、

リール動作制御手段は、

リール動作実行決定手段により、回転リールに特定の回転量の作動を行わせることが決定された場合に、特定の回転量分、回転リールが作動するように形成されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の遊技機。

【請求項 4】

__回転リールの停止位置に基づいて、遊技者に所定の利益を付与するための所定の表示態様を決定する表示態様決定手段を備え、

利益付与手段は、

リール動作制御手段により、回転リールが作動した結果、図柄表示窓内の図柄の表示が、表示態様決定手段により決定された所定の表示態様であると判定された場合に、遊技者に所定の利益を付与するように形成されていることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載の遊技機。

【請求項 5】

リール動作制御手段により作動する回転リールの特定の回転量は、回転リールの周囲に付された図柄、1 個分に相当する量であり、

フリーズ制御手段によりフリーズ状態が実行される場合に、このフリーズ状態において、リール動作制御手段により作動可能な回転リールの総回転量を決定する総回転量決定手段と、

総回転量決定手段により決定された回転リールの総回転量を遊技者に報知する報知手段とを備え、

フリーズ状態において、リール動作制御手段により、総回転量決定手段により決定された回転リールの総回転量の作動が行われた場合には、回転リールが作動しないように形成されていることを特徴とする請求項 2、3 又は 4 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

各請求項に記載された発明は、上記した各目的を達成するためになされたものであり、本発明の特徴点を図面に示した発明の実施の形態を用いて、以下に説明する。

なお、符号は、発明の実施の形態において用いた符号を示し、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

(請求項 1)

請求項 1 記載の発明は、周囲に複数の図柄が付された回転リール45と、回転リール45の図柄を視認可能な図柄表示窓15とを備え、遊技に用いるスイッチとして少なくとも、回転リール45の回転を開始させるためのスタートスイッチ33と、回転リール45の回転を停止させるためのストップスイッチ34と、予め貯留した遊技媒体を内部投入するためのベットスイッチ32とを備え、遊技媒体の直接投入又は内部投入により遊技の開始を可能とし、スタートスイッチ33の操作により回転リール45の回転を開始させるとともに、複数の役のいずれかに当選か又はハズレかの抽選を行い、該抽選の結果及びストップスイッチ34の操作に基づいて回転リール45の回転を停止させ、当選した役を構成する図柄の組み合わせが図柄

表示窓15内の所定の位置に揃ったか否かの判定を行い、該判定の結果に応じて所定の利益を遊技者に付与する又は付与しないことで1回の遊技が終了する遊技機であって、

遊技機は、遊技の進行を遅延させるフリーズ状態を実行するフリーズ制御手段150と、フリーズ状態において、遊技機に設けられたスイッチのうち所定のスイッチの操作に応じて、回転リール45が作動するようにしたリール動作制御手段180と、リール動作制御手段180により、回転リール45が作動した結果、図柄表示窓15内の図柄の停止表示が所定の表示態様となった場合に、遊技者に所定の利益を付与する利益付与手段200とを備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(請求項2)

請求項2記載の発明は、上記請求項1記載の発明の特徴に加え、フリーズ状態において、ストップスイッチ34と他の特定のスイッチとの同時操作が検知可能に形成され、リール動作制御手段180は、ストップスイッチ34の操作のみが検知された場合には、所定の回転方向に回転リール45が作動し、ストップスイッチ34と他の特定のスイッチとの同時操作が検知された場合には、所定の回転方向とは反対の方向に回転リール45が作動するように形成されていることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

ここで、「所定の回転方向」は、通常の回転方向又は通常の回転方向とは逆の方向である。

すなわち本発明では、フリーズ状態において、ストップスイッチ34のみが操作された場合には、所定の回転方向に回転リール45が作動し、ストップスイッチ34と他のスイッチとが同時操作された場合には、所定の回転方向とは反対の方向に回転リール45が作動する。

これにより、本発明によれば、フリーズ状態において行われるミニゲームを変化に富んだものとすることができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

(請求項3)

請求項3記載の発明は、上記請求項1又は2記載の発明の特徴に加え、所定のスイッチの操作に基づいて、回転リール45に特定の回転量の作動を行わせるか否かを決定するリール動作実行決定手段を備え、リール動作制御手段180は、リール動作実行決定手段により、回転リール45に特定の回転量の作動を行わせることが決定された場合に、特定の回転量分、回転リール45が作動するように形成されていることを特徴とする。

すなわち本発明では、フリーズ状態において、遊技機に設けられたスイッチのうちの所定のスイッチ、たとえばストップスイッチ34が操作されると、回転リール45に特定の回転量の作動を行わせるか否かを決定する。そして、回転リール45に特定の回転量の作動を行わせることが決定されると、特定の回転量分、回転リール45を作動させる。つまり本発明

では、フリーズ状態において、たとえばストップスイッチ34が操作された場合に、回転リール45が特定の回転量分、作動する場合と作動しない場合とがある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

これにより、本発明によれば、フリーズ状態において行われるミニゲームを变化に富んだものとすることができる。

(請求項4)

請求項4記載の発明は、上記請求項1、2又は3記載の発明の特徴に加え、回転リール45の停止位置に基づいて、遊技者に所定の利益を付与するための所定の表示態様を決定する表示態様決定手段を備え、利益付与手段200は、リール動作制御手段180により、回転リール45が作動した結果、図柄表示窓15内の図柄の表示が、表示態様決定手段により決定された所定の表示態様であると判定された場合に、遊技者に所定の利益を付与するように形成されていることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

すなわち本発明では、回転リール45の停止位置に基づいて、遊技者に所定の利益を付与するための所定の表示態様を決定する。そして、フリーズ状態において、回転リール45が作動した結果、図柄表示窓15内の図柄の表示が決定された所定の表示態様になると、遊技者に所定の利益を付与する。つまり本発明では、遊技者に所定の利益を付与するための所定の表示態様が变化する。

これにより、本発明によれば、フリーズ状態において行われるミニゲームを变化に富んだものとすることができる。

(請求項5)

請求項5記載の発明は、上記請求項2、3又は4記載の発明の特徴に加え、リール動作制御手段180により作動する回転リール45の特定の回転量は、回転リール45の周囲に付された図柄、1個分に相当する量であり、フリーズ制御手段150によりフリーズ状態が実行される場合に、このフリーズ状態において、リール動作制御手段180により作動可能な回転リール45の総回転量を決定する総回転量決定手段と、総回転量決定手段により決定された回転リール45の総回転量を遊技者に報知する報知手段とを備え、フリーズ状態において、リール動作制御手段180により、総回転量決定手段により決定された回転リール45の総回転量の作動が行われた場合には、回転リール45が作動しないように形成されていることを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

すなわち本発明では、フリーズ状態において作動可能な回転リール45の総回転量を決定する。そして、決定された回転リール45の総回転量を遊技者に報知する。

また、本発明では、フリーズ状態において作動可能な回転リール45の総回転量の作動が行われた場合には、回転リール45を作動させない。つまり本発明では、フリーズ状態にお

いて動作可能な回転リール45の総回転量が制限される。

これにより、本発明によれば、フリーズ状態において行われるミニゲームを変化に富んだものとすることができる。